

二 労働団体と争議

(一) 横浜船渠公會社と争議

横浜市長佐町横濱船渠株式會社ハ社長後田利信専務取締役
後田永篤吉ノ經營ニ係リ造船主一船舶修理ヲ兼テセリ
會社職工生ノ動機大畧次ノ如シ

會社ニ於テ専務取締役ノ爲最止準社員(職長)及職工等ノ
一部份ヲ淘汰スルモノノ風談ニ脅カサレ職長以下職工等ハ自己
ノ地位ヲ保全スラシムルニ先ツ友愛會ニ加盟シ同會員ヲ背景
トシタル組合ヲ組織スルノ要アリトテ會社造船機部職工
ニ中心トシ機部造船工組合ヲ組織シ八月廿一日之ガ癸合式
ヲ舉ゲテ役員會員ノ團結力ニ依リ淘汰ノ豫防線ヲ張り
身上ノ保証ヲ獲得セントシテ奴方メタリ此ノ折會社側ハ同組合

幹事長小林康十郎カ妻ノ病氣ト称シ五月間缺勤シタルハ規
則上違反ナリトテ九月十五日解職シ幹事田中保壽カ泥酔
シテ他人ニ迷惑心ヲ懸ケタルハ會社職工一般ノ体面ヲ汚シタル
行為ナリトテ是又全十七日解職シタリ 職工等ハ會社が前
記幹部ヲ裁奪シタル組合ノ中心人物ニシテ友愛會員ナル
カ故ニ規則上違反ニサテ解職シタルモノニテ不都合ナリト
言々々協議シ職長復職運動ニ調印ヲ求メワアリシカ
全廿一日夜日本海員組合支部樓上ニ役員會ヲ開キ解職
及退職手續並ニ塙給復職等ノ諸件ヲ要求スルコトヲ
決議シ同組合顧問後田永太郎ニ承認ヲ得ントセリ
後田ハ其早計ヲ懇諭シ要件条件ヲ希望条件ニ改メシメ
後田自身之ヲ會社ニ交渉シタル結果小林田中ノ解職
者ニ處分料トシテ解雇手續並ニ支給シ全廿四日ヲ以テ